

2023年11月9日

各 位

香川県高松市鍛冶屋町7番地12  
穴吹興産株式会社  
代表取締役社長 穴吹 忠 嗣  
(コード番号 8928 東証スタンダード)  
問い合わせ先 執行役員 植田 栄正  
総務部長  
電話番号 087 (822) 3567

## **連結子会社の吸収合併による抱合せ株式消滅差益（特別利益）の発生、 2024年6月期 業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2023年10月23日付 当社「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ（特定子会社の異動）」にて公表いたしましたとおり、2024年1月1日を効力発生日として、当社の100%出資の連結子会社である あなぶきホームライフ株式会社を吸収合併する予定であり、2024年6月期 第3四半期連結会計期間において、これに係る特別利益を計上する見込みであります。当該発生事実のほか、最近の業績動向も踏まえ、2023年8月8日に公表いたしました2024年6月期 通期（2023年7月1日～2024年6月30日）の業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結子会社の吸収合併による抱合せ株式消滅差益（特別利益）の発生について

当社は、当社の100%出資の連結子会社である あなぶきホームライフ株式会社を吸収合併する予定ですが、この合併の効力発生日（2024年1月1日）において、同社（吸収合併消滅会社）から受け入れる純資産と当社が所有する同社株式の帳簿価格との差額を抱合せ株式消滅差益（特別利益）として計上する見込みであります。

なお、抱合せ株式消滅差益（特別利益）は、当社の個別財務諸表上で計上されるものであり、連結上相殺消去されることから、当社グループの連結業績に与える影響はありません。

#### (1) 吸収合併する連結子会社の概要

名 称： あなぶきホームライフ株式会社  
所 在 地： 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目19番12号  
代 表 者： 代表取締役社長 柴田登  
事業内容： 不動産関連事業

#### (2) 抱合せ株式消滅差益の概算額

約2,681百万円（あなぶきホームライフ株式会社直前決算期(2023年3月期)末時点)

## 2. 業績予想の修正について

### (1) 2024年6月期通期連結業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	127,000	4,600	5,200	3,200	300.00
<b>今回修正予想 (B)</b>	<b>130,000</b>	<b>5,600</b>	<b>6,300</b>	<b>3,900</b>	<b>365.62</b>
増減額 (B-A)	3,000	1,000	1,100	700	
増減率 (%)	2.4	21.7	21.2	21.9	
(参考) 前期実績 (2023年6月期)	113,835	6,962	6,478	4,051	379.78

### (2) 2024年6月期通期個別業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	72,000	3,800	2,300	215.62
<b>今回修正予想 (B)</b>	<b>74,000</b>	<b>4,400</b>	<b>5,100</b>	<b>478.12</b>
増減額 (B-A)	2,000	600	2,800	
増減率 (%)	2.8	15.8	121.7	
(参考) 前期実績 (2023年6月期)	67,525	4,706	2,895	271.45

### (3) 業績予想の修正の理由

2024年6月期の業績予想につきまして、連結において、営業利益、経常利益及び当期純利益が増加した主な要因は、エネルギー関連事業において、燃料費調整額が安定して推移し、地域電力7社の規制料金改定に伴う価格転嫁も進んだことで、電力提供事業の収益が安定化する見込みとなったこと、ホテル等の運営を行う施設運営事業及び観光事業において、アフターコロナへと移行し、顕著に収益の回復が見られていることによるものです。

また、単体における増益の主な要因は、主力である分譲マンション事業において、販売状況が概ね堅調に推移していることから、広告宣伝費等の販売費及び一般管理費が計画より削減できる見込みであること、本資料で発表の抱合せ株式消滅差益（特別利益）を計上することによるものです。

※ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上